



このような地道な活動が博多湾を守り、本市の魅力を支えています。一人でも多くの人に河川清掃へ参加してもらったため、また、現在活動している人が高いモチベーションを持って活動を継続するため、活動の意義を市民に広く発信し、地域の河川清掃活動の活性化に取り組みたいと思います。

いのち「生命」を尊ぶ都市づくり



博多湾は生き物が生まれ育つ海のゆりかごと言われ、福岡市漁業協同組合所属の漁業者により、小型底引き網や刺し網などの沿岸漁業を初め、ノリ、ワカメ、カキなどの養殖が行われており、市民に豊かな海の恵みが届けられています。また、海外においても高い評価を受けています。

## 博多湾の水質と漂着・漂流ごみについて質問しました

**?** 博多湾の水質は、どのような状況にあるの？  
→CODは、平成5年度頃をピークに低減傾向にあり、近年横ばいで推移しています。近年では西部海域や東部海域において環境基準を達成する年がみられ、中部海域では未達成の状況がほぼ続いています。 ※CODは水の汚れの度合を示す指標

**?** 海底・海洋ゴミの回収量はどのくらい？  
→平成28年度が913トン、29年度が581トン、30年度が1,522トンです。なお、平成30年度については、7月豪雨の影響等により回収量が増加したものと考えています。

台風や大雨の状況、赤潮の発生等により影響があるといえ、海底・海洋ゴミの量は減っていない、水質の大きな改善は見られない。

**?** 福岡市の取り組みは？  
→生きものが生まれ育つ博多湾の実現に向け、関係局等が一体となって取り組みを進めています。計画に基づき、下水の高度処理の推進や合流式下水道の改善などの発生源負荷対策を初め、海底耕うんや微生物製剤を活用した底質の改善、海底ごみの回収やラブアース・クリーンアップなどの海域及び海岸域の清掃、アマモ場づくりなどの環境保全創造事業の推進などの取り組みを関係局と連携するとともに、多様な主体との共働により推進しています。

本市ではさまざまな人が地域の河川を守るための清掃活動に参加しています。調査を行い、明らかにすることは、今後の対策を考えていく上で非常に重要な情報になるので、ぜひ河川ごみについても調査を要望します。



子どもたちと愛宕山登山

回収される海底ごみの量は減少しておらず、ごみの多くはペットボトルやレジ袋など私たちの生活に身近なごみです。博多湾は閉鎖性の高い海域であるため、海底ごみの多くは河川などを通じて、陸域の生活ごみが多く流入していると言われ、海に流入する前に陸域で回収すれば、海底ごみの量を減らすことができます。

## ZEB 福岡市の地球温暖化対策

**?** 地球温暖化対策は日本、そして世界全体で取り組むべき重要な課題となっております。福岡市においても、市域における温暖化対策の新たな指針となる福岡市地球温暖化対策実行計画が昨年8月に改定されたところであり、まずはこの計画の概要として、市役所における率先した取組について質問をいたしました。

ZEB化や建築物の省エネ化の民間の動きを加速させていくためには、まず市役所自らが率先して取り組むことが何より重要です。博多区新庁舎が「ZEB Ready（ゼブ・レディ）」を取得し、高い耐震性能と環境性能を併せ持つ庁舎に生まれ変わったことは、大変意義のある取組みであったと思います。

今回の質問を契機に、須崎公園で整備中の拠点文化施設においてZEB化を推進するべく、補正予算が組まれました。シンボリックな建物になる拠点文化施設をZEB化していくことにより、市有施設のみならず、民間施設にまで普及し、温暖化対策が推進されるよう、更に取り組まれるよう要望します。

## 福岡市の地球温暖化対策について質問しました

**?** 温室効果ガス排出量の現状値や目標値は？  
→福岡市では、本年8月に改定した福岡市地球温暖化対策実行計画において、2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロをチャレンジ目標として掲げ、2030年度における市域の温室効果ガス排出削減目標を2013年度比で国の46%を上回る50%削減という高い目標を掲げております。2020年度における市域の温室効果ガス排出量は684万トンと、基準年度である2013年度比で25%の温室効果ガスを削減しており、2030年度に向けては、233万トンの削減を目指しております。(福岡市環境局)

国の46%を上回る50%という高い目標を掲げている福岡市、目標達成に向けては、本市の都市としての特性を踏まえた取組みの選択と集中が必要！

**?** 重点的に脱炭素の取組みを進める分野は？  
→福岡市には製造業が少なく、サービス業などの第3次産業が9割を占めるという産業構造の特性があることから、業務部門・家庭部門・自動車部門のこれら3部門に廃棄物を加えた4つの部門を重点的に取り組む部門としています。(福岡市環境局)

家庭部門：自家用自動車等の運輸関係を除く家庭消費部門でのエネルギー消費を対象  
業務部門：事務所・ビル、ホテルや百貨店、サービス業等の第三次産業等におけるエネルギー消費を対象

特にCO2排出量が最も多い業務部門においては、福岡市の元気を示す形で、天神ビッグバンや博多コネクティッドなど都心部におけるオフィスの更新が今まさに進んでいるところから、一度建設してしまえば50年、60年あるいはそれ以上利用されるものから、建て替えのタイミングを捉えて、より省エネ性能の高い建築物に誘導していくことが非常に重要であると考えます。

**?** 最近よく耳にするZEBってなあに？  
→Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。断熱性能の高い外壁の使用や自然採光の活用、高効率な空調設備の導入等により、大幅な省エネルギー化を実現した上で、太陽光発電などで電気を作り、年間のエネルギー消費量との収支をゼロとすることを旨とした建築物のことです。(福岡市環境局)



博多どんたく、博多山笠、福岡マラソンも開催され街に活気が戻っています。



市有施設におけるZEB化 博多区新庁舎がZEB Readyの認証を取得



須崎公園の再整備イメージ

との返答をいただいております。私たちが人間が認識する情報のうち、約80%が視覚によるものと言われております。見る力を正常に伸ばすことは、健全な成長や発達に直結するものであり、治療可能なタイミングを逃すことがないようにする事が非常に重要であると考えています。

知り合いの眼科の先生が、視力は子どもの財産ですとおっしゃっておられました。とても印象的な言葉でありました。

本市の保育園にて検査が広まれば、自然と幼稚園にも検査の必要性が浸透していくと思っております。保育園での視力スクリーニング検査の実施について、医師や関係団体ともしっかりと協議をしながら、前向きに検討していただくよう引き続き要望していきます。

現在の本市においては、3歳児健診、そして就学時健診の間というものに視力検査がすっぽりと抜けている状態です。視力が発達する4歳から5歳の保育園や幼稚園での視力検査によるスクリーニングは非常に重要だと私は考えています。

就学前に目の異常を見つけ、受診、治療へとつなげていく重要性を鑑み、視力検査、屈折検査の併用、そして、検査のタイミングはしっかりと検討していただくよう議会にて要望し、

**保育所等において簡易な視力検査によりスクリーニングを実施することは、疾病等の早期発見に資するものであり、対応を検討してまいります。**

**保育園等での視力スクリーニング検査を要望**

視力が発達する4歳から5歳の視力検査が弱視の早期発見に重要であり、スクリーニング検査が必要と思いを質問しました。



人の視力は、生まれたときからはっきりと物が見えているものではなく、生後、徐々に発達し、成長するにつれて近くから見えるようになり、個人差はあるようですが、8歳ぐらいでは成人と同様に完成をします。視神経の発達前の段階で屈折異常を発見し訓練をすることによって、弱視は治る見込みがある病気だということです。

## 鮮魚市場の新たな魅力づくりについて



### 市場直結の強みを活かし、 市民や観光客向けの 魚の魅力伝える、にぎわい拠点 令和5年度中の開業目指す

魚食普及の取組みは全国的に広がりを  
見せております。長浜の鮮魚市場では福  
岡魚食普及推進協議会による「市民感謝  
デー」が40回を数えるというところで、今後  
ともこの取組を続けていきたいと思  
います。このような中、新たな魚食普及の取  
組となる市場関係者主体の先行事業とし  
て、飲食を中心に、物販やイベントなど  
を行う施設が、令和5年度中の開業を旨  
し、開設される予定です。

また、先行事業に隣接し、機能移転後の  
東冷蔵庫棟の建物を活用した活性化の取  
組について、市が中心となり検討されて  
いるというところであります。

今後とも市場関係者と連携しながら、鮮  
魚市場を中心とした魚食普及に加え、食  
関連事業者の様々なチャレンジを支えるこ  
とで、「食べ物がおいしいまち福岡」のシン  
ボルとなる場所となり、長浜から食の新し  
い取り組みが広がっていくことを大いに期  
待し、関連ビジネスの振興にもつなげてい  
きたいと考えております。

市場特有の雰囲気や高い天井高などの魅  
力を生かし、人を集め様々な交流を促す  
場にしていきたいと考えております。ま  
た、生産や流通、食生活など、食を取り巻  
く環境の変化を捉え、交流の場を生かし、



青果市場 ベジフル感謝祭  
毎月第3土曜日開催



鮮魚市場 市民感謝デー  
毎月第2土曜日開催

食関連事業者がアイデアを形にするなど、  
食に新たな価値を付加するチャレンジ・交  
流拠点の形成に取り組んでまいります。  
(福岡市 農林水産局)

今後とも鮮魚市場の活力を維持してい  
くため、市場関係者と連携をし、いつも  
おいしい魚が食べられる魚食スポットや、  
食に新たな価値を付加するチャレンジ・交  
流拠点の形成に取り組む、福岡市の食関  
連ビジネスの振興にもつなげていきたいと  
考えております。(高島市長)

### 【魚食普及に向けた活性化施設の整備】

#### 東冷蔵庫棟の活用

食に新たな価値を付加する  
チャレンジ・交流拠点



現東冷蔵庫棟の内部  
(利活用を検討)

連携

(新冷蔵庫移転後 着工予定)

#### 先行事業

市場の強みを活かした  
魚食スポット



隣接民有地での市場関係者事業  
(令和5年度開業予定)



しんちゃんお魚教室

## 早良区南部地域における 運動公園等の整備について質問しました



### スポーツ施設の少ない 早良区南部地区に 多目的スポーツ広場の設置を 要望しています

早良区南部地域は、もともとスポーツが  
盛んな地域であるにもかかわらず、スポ  
ーツができるような総合的な運動公園はな  
く、唯一、田園スポーツ広場が四箇にある  
だけです。

早良区南部地域では農業従事者の高齢  
化が進み、耕作されていない農地も多  
くなっており、こうした農地を活用し、ま  
た、山林や河川といった豊かな自然環境に  
囲まれながらソフトボールなどのスポ  
ーツが楽しめる魅力的な運動公園の整備が  
できれば、地域の振興、活性化にもつな  
がると思います。

早良区壮年ソフトボール大会は、当時の  
齒科大グラウンドから西区今津運動公園に  
会場が移りました。早良区の大会を西区  
で開催しなくてはいけない状況を一刻も  
早く改善しなくてはなりません。

今まで早良区自治協議会の皆さまによ  
る要望、自由民主党早良区選出議員4名  
による要望を重ね、現在では多目的スポ  
ーツ広場設置に向け、地権者の皆さまの協  
力もあり、四箇田園スポーツ広場を中心と  
するエリアに絞り、現地調査など検討が進  
められています。

早期グラウンド整備に向けた予算の確保な  
ど課題はありますが、引き続きしっかりと  
取り組んでまいります。

ソフトボール大会各地で開催されました。

しんちゃんカップバレーボール大会開催しました。



ソフトボール大会各地で開催されました。

しんちゃんカップバレーボール大会開催しました。

### 地域のお声を力強く 「カタチ」にします

賀茂小学校周辺では、通学する子ども  
ちを事故などから守るために長年にわた  
り、「なまずの会」という地域ボランティア  
の方が登下校時に交通指導、見守りにご  
尽力を頂いております。

賀茂小学校南側では、子どもたちのみ  
ならず、地下鉄賀茂駅を利用する多くの  
方々が道路を横切っています。小学校横  
の道は、外環状線に透けるためにスピード  
を出す車が少なくなく、危険な場面も多  
く見受けられます。

以前より校区の要望でありました、歩道  
の設置には、大田満前県議と連携し実現  
しました。現在は、更なる安全対策とし  
て「ゾーン30プラス」の地域認定に取り組  
んでおります。



### 一般社団法人 玄洋社記念館理事として 活動を致しております



玄洋社とは、明治14年に旧福岡藩士が中  
心となって結成された政治結社で、緒方  
竹虎、中野正剛、広田弘毅、進藤一馬など  
多くの先達を輩出してきた地元福岡の政  
治の源流ともいえる実績がある組織であ  
ります。

現在、玄洋社記念館は館報「玄洋」の発  
行、広田弘毅先生顕彰祭、中野正剛先生  
顕彰祭を年間行事として活動をしており  
ます。

私の曾祖父、津田幾次郎が玄洋社出身  
市議会議員として市政に携わり、祖父敬  
一郎、父隆士から、私も理事として玄洋社  
の偉業を後世に残し続けるべく事務局と  
して尽力して参ります。



「うつくしかい」をご紹介します。  
父隆士の頃に「つくし会」という婦人会がありました。私の代に  
なつてつくし会は活動していませんでしたが、今回、「うつくし  
かい」として活動が始まりました。まず、バスハイクを開催し、み  
かん狩りや事務所のお手伝いなど活動をして頂いております。是非、うつくしかいインスタへのフォロー、活動へのご参加をお願い致します。



### 信太郎プロフィール

福岡市議会議員津田たかしの長男として生まれる(昭和49年)  
市立室見小学校・私立泰星中学校・私立中村学園三陽高校を卒業  
九州産業大学・ノーザンバージニアコミュニティカレッジ(米国)を経て  
元衆議院議員山崎拓事務所秘書(平成15年)  
徳倉建設株式会社入社/同社アフリカ・タンザニア事務局長  
福岡市議会議員選挙 初当選(平成23年)  
福岡市議会議員選挙 3期目当選(平成31年)

#### < 役職・顧問 >

- 福岡市議会 議会運営委員会 理事
- 自由民主党福岡市議員  
総務会長(平成29年度) 政調会長(平成30年度)
- 福岡市スポーツ推進委員・福岡市ソフトボール協会 副会長
- 早良区ソフトボール協会 会長
- 福岡市子ども会育成連合会 事務局長
- 早良区子ども会育成連合会 会長 (社)玄洋社記念館 理事
- 保育推進議員連盟・アピス福岡後援会 顧問・福岡県看護連盟
- 福岡マラソン支援議員連盟 事務局長

つだ しんたろう  
津田信太郎  
市政相談所

〒814-0013  
福岡市早良区藤崎2-12-11  
TEL. 092-841-1200  
FAX. 092-841-1850



【子ども会の活動】  
絵画・作文コンクール  
川柳コンクール

### 犬猫パトナーシップ店 制度について

衝動的に買ってしまいがち最後まで飼えず動  
物愛護センターに収容された犬猫は次  
の飼主が見つからないと殺処分されます。  
殺処分を無くすために販売業者(犬猫  
パトナーシップ店)の協力を得て最後ま  
で飼う事を誓約してもらい、マイクロチッ  
プを装着して販売。センター等からの譲  
渡についても広報してもらいます。

犬猫の殺処分数は減少傾向にあります  
が、まだゼロではありません。犬猫パト  
ナーシップ店の数も増えていません。本制  
度をより促進させ、  
令和6年度の殺処分  
ゼロを目指します。

